

# 2012年3月期第3四半期決算 主要建設会社決算分析



2012年3月8日

財団法人 建設経済研究所

# 目次

---

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
  - ①受注高
  - ②売上高
  - ③売上総利益
  - ④販売費及び一般管理費
  - ⑤営業利益
  - ⑥経常利益
  - ⑦特別利益・特別損失
  - ⑧当期純利益
  - ⑨有利子負債
  - ⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ

# 1. 調査の目的

---

財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別・経年的に比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信から判明する2011年度の財務指標の分析を提示するものです。なお、分析対象会社の一部は12月期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(お問合せ先) 財団法人 建設経済研究所 研究理事 山口 悦弘  
研究員 中島 慎吾  
保立 豊  
野田 貴博  
海老澤 剛

電話:03-3433-5011 FAX:03-3433-5239

## 2. 今回の分析対象会社

### (1) 対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設業者を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の39社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること
- ② 会社更生法、民事再生法などの倒産関連法規の適用を受けていないこと
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと

### (2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つに階層に分類した。

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組	4社
準大手	2000億円超	戸田建設、長谷工コーポレーション、西松建設、三井住友建設、五洋建設、前田建設工業、フジタ、熊谷組、東急建設、奥村組、ハザマ	11社
中堅	2000億円未満	東亜建設工業、安藤建設、銭高組、浅沼組、鉄建建設、東洋建設、福田組、大豊建設、飛鳥建設、ナカノフドー建設、青木あすなろ建設、ピーエス三菱、東鉄工業、大本組、松井建設、矢作建設工業、名工建設、若築建設、大和小田急建設、不動テトラ、北野建設、大末建設、植木組、徳倉建設	24社

注) 対象会社・階層分類については、「2012年3月期第1四半期決算主要建設会社決算分析(当研究所2011年9月9日公表)」発表時に見直しを実施。同一年度内での見直しは実施しないことから、対象会社・階層分類とも、「2012年3月期第1四半期決算主要建設会社決算分析」と同様である。

### 3. 報告要旨

---

- 受注高(単体)は、土木の大幅な増加(前年同期比22.7%増)により、11年度第3四半期は、総計で前年同期比7.7%の増加となった。ただし、08年度第3四半期の水準には及ばない。また、10年度からみられる二極化の傾向は続き、受注競争の激化は「中堅」に大きな影響を与えている。
- 売上高は、前年同期比2.5%の増加となった。「大手」・「準大手」は増加に転じたが、「中堅」は▲5.3%と減少が続いている。
- 売上総利益は、近年回復基調にあったが、11年度第3四半期では、利益額の大幅な減少とともに、利益率も前年同期比▲1.4%ポイントと、09年度水準にまで低下した。今後も、受注競争の一層の激化に加え、東日本大震災の復旧・復興工事などの影響による労務費上昇などが懸念されており、採算確保に向けた懸念材料は少なくはない。
- 当期純利益は、売上高の減少と工事採算の悪化に加え、法人税率引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩し等により、当期純損失となった。

# 4. 主要分析結果

## ①受注高(単体:受注高合計)

単位:百万円

### 受注高／前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
	前年	前年同期比	前年	前年同期比	前年	前年同期比	前年	前年同期比
08年度3Q累計	3,912,287	(前年同期比)	2,128,606	(前年同期比)	1,465,484	(前年同期比)	7,506,377	(前年同期比)
09年度3Q累計	2,446,762	▲ 37.5%	1,705,408	▲ 19.9%	1,212,631	▲ 17.3%	5,364,801	▲ 28.5%
10年度3Q累計	2,483,222	1.5%	1,729,376	1.4%	1,194,081	▲ 1.5%	5,406,679	0.8%
11年度3Q累計	2,857,631	15.1%	1,829,230	5.8%	1,137,008	▲ 4.8%	5,823,869	7.7%

- 受注高(単体)総計は、09年度第3四半期は大幅に落ち込み、10年度第3四半期になって下げ止まった。11年度第3四半期は、総計で前年同期比7.7%の増加となった。ただし、08年度第3四半期の水準には及ばない。
- 「大手」は前年同期比15.1%、「準大手」は5.8%の増加となったが、「中堅」は▲4.8%と前年以上の減少率となった。
- 全38社中19社が前年同期比で受注増となっており、うち11社が二桁の受注増を計上している。一方、受注減の企業19社のうち11社が二桁の受注減となっており、10年度からみられる二極化の傾向が続いている。また、受注減の企業19社のうち17社が「中堅」であり、受注競争の激化が「中堅」に大きな影響を与えている。

注) ①大和小田急建設、北野建設は受注データが一部非公開のため、数値に含めず。②東鉄工業、矢作建設工業、不動テトラは連結数値(単独は非公開)。  
③ピーエス三菱の10年度以降は連結数値(単独は非公開)。

# 受注高(単体:建築)

単位:百万円

## 受注高／前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
	値	(前年同期比)	値	(前年同期比)	値	(前年同期比)	値	(前年同期比)
08年度3Q累計	2,895,812		1,484,502		911,938		5,292,252	
09年度3Q累計	1,881,318	▲ 35.0%	1,139,089	▲ 23.3%	699,983	▲ 23.2%	3,720,390	▲ 29.7%
10年度3Q累計	1,872,224	▲ 0.5%	1,242,150	9.0%	726,761	3.8%	3,841,135	3.2%
11年度3Q累計	2,058,078	9.9%	1,230,346	▲ 1.0%	664,513	▲ 8.6%	3,952,937	2.9%

- 建築の受注高総計は、09年度第2四半期に大幅に減少。10年度から増加に転じているものの、11年度第3四半期で増加したのは「大手」のみ。
- 民間設備投資の低迷により大幅受注減となった09年度第3四半期と比較すると、11年度第3四半期では、「大手」「準大手」は増加に転じているものの、「中堅」は減少が続いている。
- 総計では増加が続いているが、受注減の企業は全38社中24社で、うち18社が「中堅」。また、二桁の受注減となった企業12社のうち11社が「中堅」であり、受注競争の激化が「中堅」に大きな影響を与えている。

注) ①大和小田急建設、北野建設は受注データが一部非公開のため、数値に含めず。②東鉄工業、矢作建設工業、不動テトラは連結数値(単独は非公開)。  
③ピーエス三菱の10年度以降は連結数値(単独は非公開)。

# 受注高(単体:土木)

単位:百万円

## 受注高／前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
	数値	(前年同期比)	数値	(前年同期比)	数値	(前年同期比)	数値	(前年同期比)
08年度3Q累計	851,225		617,964		544,267		2,013,456	
09年度3Q累計	514,997	▲ 39.5%	552,020	▲ 10.7%	497,939	▲ 8.5%	1,564,956	▲ 22.3%
10年度3Q累計	492,888	▲ 4.3%	464,420	▲ 15.9%	455,016	▲ 8.6%	1,412,324	▲ 9.8%
11年度3Q累計	704,823	43.0%	565,646	21.8%	462,539	1.7%	1,733,008	22.7%

- 土木の受注高総計は、09年度以降続いた減少傾向が、11年度第1四半期以降増加に転じ、11年度第3四半期では前年同期比22.7%の大幅な増加。
- 「大手」・「準大手」は震災復旧関連の大型案件を受注した一部の企業に牽引される形で大幅増となったが、「中堅」は前年同期比1.7%と微増。
- 総計では増加に転じたが受注減の企業は全38社中17社で、うち13社が「中堅」。また、二桁の受注減となった企業12社のうち10社が「中堅」であり、これは、震災復旧関連工事の受注が「大手」・「準大手」に集中している可能性も考えられる。
- 参考として、2012年1月に当研究所が発表した2011年度政府土木投資は、震災関連の補正予算の被災地における執行状況を加味し、前年度比10.4%の増加を予想している。

注) ①大和小田急建設、北野建設は受注データが一部非公開のため、数値に含めず。②東鉄工業、矢作建設工業、不動テトラは連結数値(単独は非公開)。  
③ピーエス三菱の10年度以降は連結数値(単独は非公開)。



## ②売上高(連結)

単位:百万円

### 売上高／前年同期比、通期予想／3Q達成率、通期予想前年度比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	4,885,819	(前年同期比)	2,624,854	(前年同期比)	1,778,350	(前年同期比)	9,289,023	(前年同期比)
09年度3Q累計	4,357,880	▲ 10.8%	2,350,897	▲ 10.4%	1,687,716	▲ 5.1%	8,396,492	▲ 9.6%
10年度3Q累計	3,455,924	▲ 20.7%	2,207,313	▲ 6.1%	1,528,428	▲ 9.4%	7,191,665	▲ 14.3%
11年度3Q累計	3,644,287	5.5%	2,280,790	3.3%	1,447,980	▲ 5.3%	7,373,057	2.5%
11年度通期予想	通期予想	3Q達成率	通期予想	3Q達成率	通期予想	3Q達成率	通期予想	3Q達成率
	5,400,000	67.5%	3,374,400	67.6%	2,089,860	69.3%	10,864,260	67.9%
	大手		準大手		中堅		総計	
10年度実績	4,979,416	(前年度比)	3,160,015	(前年度比)	2,218,542	(前年度比)	10,357,973	(前年度比)
11年度通期予想	5,400,000	8.4%	3,374,400	6.8%	2,089,860	▲ 5.8%	10,864,260	4.9%

- 売上高総計は、07年度以降続いた減少傾向が、11年度第3四半期に増加に転じ、前年同期比2.5%の増加となった。「大手」・「準大手」は増加に転じたが、「中堅」は▲5.3%と減少が続いている。
- 「大手」・「準大手」は、11年度の売上高を前年度比で増加と予想しているが、「中堅」は前年度比で減少と予想している。通期売上達成に向けて、順調に積み上がってきてはいるが、電力供給制約や事業所・生産拠点などの海外移転加速等の懸念材料が売上高に影響する可能性は依然として残存している。

### ③売上総利益（連結）

単位：百万円

#### 売上総利益／売上総利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率
08年度3Q累計	270,095	5.5%	184,708	7.0%	122,851	6.9%	577,654	6.2%
09年度3Q累計	303,283	7.0%	185,174	7.9%	137,129	8.1%	625,586	7.5%
10年度3Q累計	318,806	9.2%	188,093	8.5%	129,992	8.5%	636,891	8.9%
11年度3Q累計	293,595	8.1%	165,769	7.3%	95,569	6.6%	554,933	7.5%

#### 前年同期比(売上総利益)

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	12.3%	0.3%	11.6%	8.3%
10年度3Q累計	5.1%	1.6%	▲ 5.2%	1.8%
11年度3Q累計	▲ 7.9%	▲ 11.9%	▲ 26.5%	▲ 12.9%

- 売上総利益は、総計で近年回復基調にあったが、11年度第3四半期では、利益額は大幅に減少し、利益率も前年同期比▲1.4%ポイントと、09年度水準にまで低下した。
- 売上総利益率は、全39社中33社が前年同期比で低下した。
- 今後も、受注競争の一層の激化に加え、東日本大震災の復旧・復興工事などの影響による労務費上昇などが懸念されており、採算確保に向けた懸念材料は少なくはない。

## ④販売費及び一般管理費(連結)

単位:百万円

### 販管費／販管費率

	大手		準大手		中堅		総計	
	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率
08年度3Q累計	249,820	5.1%	159,108	6.1%	125,014	7.0%	533,942	5.7%
09年度3Q累計	235,685	5.4%	152,996	6.5%	108,236	6.4%	496,917	5.9%
10年度3Q累計	227,197	6.6%	140,139	6.3%	103,710	6.8%	471,046	6.5%
11年度3Q累計	225,495	6.2%	133,772	5.9%	96,047	6.6%	455,314	6.2%

### 前年同期比(販管費)

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	▲ 5.7%	▲ 3.8%	▲ 13.4%	▲ 6.9%
10年度3Q累計	▲ 3.6%	▲ 8.4%	▲ 4.2%	▲ 5.2%
11年度3Q累計	▲ 0.7%	▲ 4.5%	▲ 7.4%	▲ 3.3%

- 販管費は、総計で前年同期比▲3.3%、約157億円の減少となった。
- これまで販管費の削減が継続されてきたものの、売上高の減少により、その効果が相殺され、販管費率は増加傾向にあったが、11年度第3四半期では、「大手」・「準大手」で売上高が増加に転じた影響もあり、「中堅」も含め、販管費削減努力により改善した。

## ⑤営業利益(連結)

単位:百万円

### 営業利益／営業利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率
08年度3Q累計	20,275	0.4%	25,600	1.0%	▲ 2,164	▲ 0.1%	43,711	0.5%
09年度3Q累計	67,598	1.6%	32,178	1.4%	28,889	1.7%	128,665	1.5%
10年度3Q累計	91,609	2.7%	47,953	2.2%	26,275	1.7%	165,837	2.3%
11年度3Q累計	68,098	1.9%	31,992	1.4%	▲ 479	▲ 0.0%	99,611	1.4%

### 前年同期比(営業利益)

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	233.4%	25.7%	黒字転換	194.4%
10年度3Q累計	35.5%	49.0%	▲ 9.0%	28.9%
11年度3Q累計	▲ 25.7%	▲ 33.3%	▲ 101.8%	▲ 39.9%

- 営業利益は、販管費を削減したものの、売上総利益の大幅な減少を吸収できず、総計では、前年同期比で大幅に減少した。
- 「大手」・「準大手」は、10年度第3四半期に改善傾向がみられたが、ふたたび09年度第3四半期の水準に戻っている。「中堅」は、販管費の削減では売上総利益の大幅な減少を吸収しきれず、一部の企業の業績悪化の影響もあり、営業利益・営業利益率とも前年同期水準を大きく下回り、営業赤字となった。今後の受注高や工事採算の動向などは、一層注視していく必要がある。

## ⑥ 経常利益（連結）

単位：百万円

### 経常利益／経常利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率
08年度3Q累計	14,732	0.3%	14,483	0.6%	▲ 8,018	▲ 0.5%	21,197	0.2%
09年度3Q累計	85,224	2.0%	27,907	1.2%	24,736	1.5%	137,867	1.6%
10年度3Q累計	83,588	2.4%	41,325	1.9%	22,887	1.5%	147,800	2.1%
11年度3Q累計	70,756	1.9%	28,693	1.3%	▲ 2,606	▲ 0.2%	96,843	1.3%

### 前年同期比（経常利益）

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	478.5%	92.7%	黒字転換	550.4%
10年度3Q累計	▲ 1.9%	48.1%	▲ 7.5%	7.2%
11年度3Q累計	▲ 15.4%	▲ 30.6%	▲ 111.4%	▲ 34.5%

- 「大手」・「準大手」の経常利益率は、08年度第3四半期以降、改善傾向にあったが、11年度第3四半期は低下となった。「中堅」は大幅に低下し、08年度第3四半期の厳しい環境下の水準がみえてきている。
- 歴史的な円高水準の継続を背景に、為替差損が積み上がり、総計で約92億円となっている（前年同期は約151億円）。

## ⑦特別利益・特別損失の内訳(連結)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計		
	11年度3Q累計	10年度3Q累計	11年度3Q累計	10年度3Q累計	11年度3Q累計	10年度3Q累計	11年度3Q累計	10年度3Q累計	
<b>特別利益</b>	<b>19,236</b>	<b>20,807</b>	<b>2,440</b>	<b>10,802</b>	<b>4,713</b>	<b>5,329</b>	<b>26,389</b>	<b>36,938</b>	
主な内訳	前期損益修正益	0	2,016	7	838	0	970	7	3,824
	投資有価証券売却益	15,496	3,662	566	575	122	495	16,184	4,732
	固定資産売却益	2,392	35	1,052	2,654	2,787	924	6,231	3,613
	貸倒引当金戻入	0	0	9	3,991	188	1,296	197	5,287
	負ののれん益	0	0	0	656	608	0	608	656
<b>特別損失</b>	<b>29,942</b>	<b>15,101</b>	<b>9,372</b>	<b>6,151</b>	<b>5,860</b>	<b>15,526</b>	<b>45,174</b>	<b>36,778</b>	
主な内訳	前期損益修正損	0	0	0	326	0	369	0	695
	投資有価証券評価損	5,864	5,182	5,808	1,539	1,843	4,292	13,515	11,013
	投資有価証券売却損	0	781	0	0	0	6,260	0	7,041
	固定資産売却損	26	72	31	87	28	164	85	323
	固定資産除却損	0	0	981	62	159	89	1,140	151
	貸倒損失・引当金繰入	0	0	0	977	331	1,248	331	2,225
	割増退職金	0	0	0	577	0	0	0	577
	減損損失	16,194	4,365	180	414	171	1,079	16,545	5,858

- 特別利益は、「大手」の一部の企業で投資有価証券売却益が多く計上されている。
- 特別損失は、「大手」の一部の企業で減損損失(賃貸用不動産減損損失など)が計上され、投資有価証券評価損も一部の企業で昨年度から引き続き多く計上されている。

## ⑧ 当期純利益(連結)

単位:百万円

### 当期純利益／当期純利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
08年度3Q累計	▲ 14,647	▲ 0.3%	▲ 36,491	▲ 1.4%	▲ 37,003	▲ 2.1%	▲ 88,141	▲ 0.9%
09年度3Q累計	65,087	1.5%	15,461	0.7%	5,017	0.3%	85,565	1.0%
10年度3Q累計	53,051	1.5%	33,176	1.5%	4,160	0.3%	90,387	1.3%
11年度3Q累計	5,940	0.2%	2,693	0.1%	▲ 9,760	▲ 0.7%	▲ 1,127	▲ 0.0%

### 前年同期比(当期純利益)

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	黒字転換	黒字転換	黒字転換	黒字転換
10年度3Q累計	▲ 18.5%	114.6%	▲ 17.1%	5.6%
11年度3Q累計	▲ 88.8%	▲ 91.9%	▲ 334.6%	▲ 101.2%

- 当期純利益は、売上高の減少と工事採算の悪化に加え、法人税率引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩し等により、総計で当期純損失となった。
- 全39社中18社が当期純損失で、うち13社が「中堅」。(公表されている範囲で法人税率引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩し等の影響を控除すると全39社中14社で、うち12社が「中堅」。)
- 公表されている範囲で集計した法人税率引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩し等の影響は総計で、約324億円。(うち「大手」:約233億円、「準大手」:約78億円、「中堅」:約13億円)

## ⑨有利子負債（連結）

単位：百万円

### 有利子負債額

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	2,222,233	880,969	622,402	3,725,604
08年度末	1,795,451	825,168	484,829	3,105,448
09年度3Q末	2,281,163	804,372	556,387	3,641,922
09年度末	1,984,779	754,261	412,066	3,151,106
10年度3Q末	1,982,395	700,087	467,419	3,149,901
10年度末	1,833,766	609,813	415,882	2,859,461
11年度3Q末	1,968,163	663,545	431,342	3,063,050

- 各企業の売上高が減少傾向にある中、有利子負債は、各企業のバランスシートの調整が進展していることや、売上債権の早期回収努力により、各階層で減少しており、総計で前年同期比約869億円の減少となった。（うち「大手」：約142億円減少、「準大手」：約365億円減少、「中堅」：約361億円減少）
- 前年度末比では、総計で約2,036億円の増加となっている。（うち「大手」：約1,344億円増加、「準大手」：約537億円減少、「中堅」：約155億円減少）



## ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

### 自己資本比率

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	15.9%	21.9%	20.5%	18.4%
09年度3Q末	18.1%	25.4%	24.0%	21.1%
10年度3Q末	19.6%	27.9%	27.9%	23.4%
11年度3Q末	18.4%	26.9%	28.7%	22.5%

### D/Eレシオ

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	1.82	1.04	1.15	1.43
09年度3Q末	1.81	0.95	1.04	1.37
10年度3Q末	1.66	0.83	0.83	1.21
11年度3Q末	1.76	0.82	0.80	1.24

※有利子負債/自己資本で算出

- 自己資本比率は、「中堅」は上昇しているが、「大手」・「準大手」で低下している。
- 有利子負債は減少しているものの、自己資本の減少に伴い、D/Eレシオは総計で0.03ポイント上昇している。

注)自己資本比率は、今までの調査との継続性を重視し、「純資産」ではなく「自己資本」を総資産で割って算出